

平成三十年度
名寄市立大学
推薦入試・社会人選抜

小 論 文 問 題

試験時間 一〇時〇〇分～一一時三〇分（九〇分）

*受験上の注意

- ① 指示があるまで開いてはいけない。
- ② 指示に従って、静粛に行動すること。
- ③ 机上には、受験票、筆記用具、消しゴム、鉛筆削り、時計、眼鏡、目薬、袋・箱から出したティッシュペーパー以外、不要なものは置かないこと。
- ④ 質問、用便その他、特に必要のある場合は黙って手を挙げ、指示を求めること。
- ⑤ 不正を行ったものは試験を中止し、以後の受験資格を失うものとする。

次の文章を読み、あとの間に答えなさい。

なぜかこんなツイートが大人気でした。

「日本の労働環境を変えて自分も幸せになりたいなら、居酒屋店員を虐めたり、ピザ配達人が五分遅れたことをなじったり、駅員を殴ったり、カスタマーセンターに対したことではないのに文句を言ったり、払ったお金の何倍もに匹敵するサービスを無理強いするのを、辞めて下さい。」(2012年3月21日4時52分・原文ママ)

「しつこいが正しい日本語の使い方促進するため用語集を記す。ノマドノマド個人事業者、零細自営、シェアハウスシェアハウス長屋、シェアオフィスシェアオフィス事務所共同賃貸、スタートアップスタートアップ中小企業、リーンスターアップリーンスターアップププ金と人材極限まで削った零細、ローンローン借金、バンカーバンカー金貸し、コンサルコンサル営業」(2012年9月2日2時5分・原文ママ)

気がつくと、私の書き込みはTogetherというTwitterの書き込みをまとめるサイトに掲載されていたり、日本最大のネット掲示板である2ちゃんねるには、罵ばりぞうしん言雑言から応援メッセージまで、私に関するさまざまなことが書き込まれています。私は実生活では地味な方なので、仮想空間でこんなふうに入様の注目を集めているというのは、なんだか不思議な感じなわけです(有名人でもない私をそんなに観察して何のご利益があるのかさっぱり不明なのですが、世の中暇な人が多いようです)。

フォローの方からはメンション (@:Twitter のつぶやきにつける宛名のようなもの)でコメントが飛んでくるのですが、その多くは、仕事に関する悩みなのです。「私の悩みを聞いてほしい」「毎日残業で死にそうです」「仕事の契約が切れそうです」「介護が必要な親を抱えています。先々どうすればいいのか?」という深刻な悩みや、「もつと言ってほしい」という「助けを求めるコメント」ばかりなのです。外国に住んでいる人や、日本に批判的な人々が大嫌いなはずのネット右翼の方々の中からも、最近では「あなたの言っていることは正しい」というコメントが飛んでくる有様です。あれだけ「日本は素晴らしい」と言っていたネット右翼の方々でさえ「何かがおかしくないか?」「なぜ俺の生活はこんなに貧しいんだ?」と思っっているようなのです。

(中略)

(A) 私は「このような悩みやコメントに接して、日々、「なんだかなあ」と思っています。コメントを飛ばしてくる方や、直接知り合いになり相談してくる方の多くは「何々が嫌だ」「日本はここが問題らしい」「あの政治家が悪い」と、自分が直面している問題をまるで他人事のように語るばかりで、「俺はこうしたいんだ」「こうすれば良くなる」「俺はこれをやっている」という「私ならこうする」という意見も主張もないからです。私に相談をしてくる、まるで「私には責任はない。どうしたら良いかわからない。答えを教えてください」と言っっているような調子なのです。自分の人生なのに、まるで塾でテストの答えを教え

てくださいという生徒のようです。これが20代から30代の大人で、家庭を持っている人も含まれている、ということが、なんだか情けないわけです。

(中略)

天下りが減らないのも、原発事故でさまざまな隠蔽いんぺいが発覚したのも、日本の人々の多くが「傍観者」に徹していて自発性がないことに起因するのではないのでしょうか。自発性がないから、自分の問題を直視せず、何かを変えようという行動をとらないのです。自分のことだと思っていないから、大事な年金が意味不明なファンドに投資されようが、自分の町にどう見ても無駄な公共施設が建てられようが、気にしないのです。会社がどんな酷い労働条件を要求しても、自分のことだとは思っていないから、何も言わないのです。いつも、誰かがどうにかしてくれることを待っている。

(B) いつまでたっても残業が減らず、労働環境や住環境が悪化する一方なのは、つまり、「自分の責任」なんです。

(中略)

日本は中国やアラブ諸国のように政治的発言が制限されているわけでもなく、表現の自由があります。もちろん、多少制限されているとは言っても、世界の多くの国とは比較にならない自由さがあり、裁判を起すのにも、警察に犯罪の対応を頼むのにも、賄賂やコネはいらないのです。通信回線は世界最高レベルなのでネットも電話も使い放題で、先進国基準でも激安です。多くの国では電話回線を引くだけでも大変で、ネットの接続料は高く、接続品質は不安定です。

(中略)

このように、自分で考えたり行動するための「道具」や「材料」は十分すぎるほどそろっているのに、今の日本の人の多くは、そのような「道具」や「材料」があることのありがたさが全くわかっていないようなのです。このように恵まれた環境にある、ということがわかっていないことが、日本人達の最大の不幸かもしれません。

(「日本が世界一「貧しい」国である件について」谷本真由美著 祥伝社黄金文庫 二〇一六年より)

注 著者はフォロワー五万五千人を超える自称「Twitter 芸人」で、イギリスの大学院を修了、国連専門機関で専門職勤務の経験を有している。

問一 傍線部(A)について、著者が「なんだかなあ〜」と思う理由を二百字以内で説明しなさい。

問二 傍線部(B)で著者が言うような「自分の責任」ということについて、あなたが考えることを六百字以上八百字以内で述べなさい。